

△セパゾン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】クロキサゾラム cloxazolam 【分類】マイナートランキライザー

【単位】△1mg・▼2mg/錠

【常用量】3～12mg/日. 術前不安除去の場合は0.1～0.2mg/kgを手術前に

【用法】分3

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】オキサゼパムの類似化合物で、長期作用型・中力価型ベンゾジアゼピン系、筋肉骨格系の心身症（慢性関節リウマチ、チック、斜頸、腰痛症、肩凝り、筋収縮性頭痛等）がよい適応となる。心因性の眩暈に有効（側頭皮質・大脳辺縁系を抑制）との報告がある。

【主な副作用・毒性】依存性、禁断症状、せん妄、めまい、ふらつき、眠気、口渇、倦怠感、消化器症状など

【F】ほぼ完全に吸収される [ラット・イヌ] (1)

【tmax】2～4hr [イヌ] (1)

【代謝】肝マイクロソーム分画により 18 種以上の代謝物に変換され、活性代謝物 chloro N-desmethyl diazepam (CND) が存在する (1)

【排泄】代謝物として主に胆汁中排泄され、一部は尿中排泄 (1) 尿中回収率 8～19% (1)

【T1/2】11～21hr (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd】資料なし (1)

【MW】349.21

【透析性】資料なし (1)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない

【pKa】7.10 (1) 【O/W 係数】LogP=3.6 [1-オクタノール/水系, pH6.8 (第 2 液)] (1)

【主な臨床報告】小児の難治性てんかんに維持量 0.3～0.5mg/kg が有効 (Kimura N, et al: *Pediatr Neurol* 43: 403-6, 2010 PMID: 21093730)

【更新日】20180409

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。